

研究論文・課題レポートの提出方法

- 申請には 100 ポイントが必要となる
 - ・ 認定教育機関での教育課程修了で 80 ポイントは必須事項
残りの 20 ポイントは以下から各自選択
 - ・ 研究論文の提出で 20 ポイント(共同論文は受け付けない)
 - ・ 課題レポート 1 題につき 10 ポイント (課題レポートのみを提出の場合は 2 題提出)
- 申請書類提出時の注意事項
 - ・ 研究論文及び課題レポートは各 3 部提出し、左肩をホチキスでそれぞれ止める
 - ・ 1 部目に様式 3 の表紙をつけ、必要事項を記入する
 - ・ 2、3 部目には表紙は付けない
 - ・ 様式 1、2、3 の内容に不備があった場合は、申請を受け付けない場合がある
 - ・ レポート、論文ともに本文には氏名・施設名などは記入せずテーマのみ記入する

《課題レポートの作成について》

課題レポートは 2 題提出が必要になる。テーマ 1 は必須課題、テーマ 2・3 はどちらかを選択する。

テーマ 1 (必須課題)：重症心身障害児者の日常生活の場における意思決定支援と倫理的課題について
重症心身障害児者の日常生活における意思決定支援と倫理的課題について、あなたの職場内の課題を挙げ、その課題の解決に向けあなたはどのように取り組んでいますか？また、取り組もうとしていますか？具体的事例を挙げて述べてください。

- ① あなたの考える意思決定支援の在り方
- ② 施設の現在の状況
- ③ 状況から挙げられる対応を必要とする課題
- ④ 課題に対しての介入計画
- ⑤ 計画実施後に目標とする結果 (課題解決後のあるべき姿)

テーマ 2 (選択課題)：重症心身障害児者の在宅生活を支える看護の役割について

重症心身障害児者の在宅生活を支えるうえでの看護の現状と課題を述べ、その中で、あなたの職場ではどのような課題があり、その課題の解決のためにあなたはどのように取り組もうと考えていますか。短期入所、通所事業、訪問看護等がかかわった経験を踏まえて、あなたの考えを述べてください。

- ① あなたの地域の在宅生活を支えるうえでの現状と課題
- ② 施設の現在の状況
- ③ あなたがかかわった事例から対応を必要とする課題
- ④ 課題に対してのあなたの介入計画 (実際に施設の持つ機能でできることを計画する)
- ⑤ 計画実施後に目標とする結果 (課題解決後のあるべき姿)

テーマ 3 (選択課題)：重症心身障害児者看護と障害児者を取り巻く人々との連携や協働について

重症心身障害児者の看護を行なう上で、他の職種や関係する人々との連携や協働について、あなたの

⑦別紙 1

職場ではどのような課題があり、その課題の解決のためにあなたはどのように取り組もうと考えていますか。具体的に事例を挙げてあなたの考えを述べてください。

- ① あなたの考える連携や協働の在り方
- ② 施設の現在の状況
- ③ 状況から考えられる連携や協働上の課題
- ④ 課題に対してのあなたの介入計画
- ⑤ 計画実施後に目標とする結果（課題解決後のあるべき姿）

【作成時の注意事項】

- ① パソコンで入力
- ② 文体は常体「～だ・～である」に統一されている
- ③ 文字フォントは、原則として明朝体とする。
- ④ A4紙縦使用横書き、文字サイズ10.5ポイント
- ⑤ 1行の文字数は40字 一行の行数は40行とする
- ⑥ 下段にページ数をいれる
- ⑦ 文字数3400～3500字、文字色 黒、最後に後ろ揃えで（〇〇〇〇字）と文字数を表記する
- ⑧ 1行目に中央揃えでテーマを記載、2行空けて本文に入る。テーマの字数と参考・引用文献は本文文字数に含まない
- ⑨ 参考文献・引用文献の記載方法は「重症心身障害児の療育」の投稿規定に従い、文献は重要なもののみとし、引用順に文中に番号を付ける。文献は論文の最後に引用順に一括記載する
- ⑩ 参考文献で読んだ他人の意見と自分自身の意見を明確に区別して書く。参考文献・引用文献は明確に区別する
- ⑪ 自分自身の意見や行動を記入する。

《研究論文作成について》

- ① 研究論文は重症心身障害児者に関わる看護実践に役立つ根拠のある知識であること、看護実践の質の向上に役立つことを目的に行うことを基本とする。
* 研究論文は、重症心身障害児者に関わる看護師として、現場で直面した課題（重心看護にとって意義のあるもの）に対して、その課題を解決したいという思いがあり、その課題解決に向け、研究的な手法を活用しまとめるものです。先行研究等の検索を行なった上で、目的に合った研究方法を選択し、研究のプロセスを通して、実践者として能力の向上や利用者へのケアの質向上につながったかどうか等を丁寧に記述してください。また、倫理的配慮を十分に行なうこと、考察や結論は、一般的な記述ではなく、研究結果をどう活かすかを考察、または結論を述べてください。
- ② 論文は研究開始から3年以内のものとする
- ③ 共同研究は認めない
- ④ 倫理的配慮とその記載方法が守られている（倫理的配慮の注意事項倫理的配慮における考え方は、日本看護協会の「看護研究における倫理指針」を基本とする）
特に実験研究においては、対象への倫理的配慮を十分に行ない、その内容をわかりやすく記述す

⑦別紙 1

ること

- ⑤ 研究は、すでに発表したものは受け付けない。

【作成時の注意事項】

- ① パソコンで作成する
- ② A4 紙縦使用横書き、文字サイズ 10.5 ポイント、文字色 黒
- ③ 文字フォントは、原則として明朝体とする。
- ④ 一行の文字数は 40 字、一枚の行数は 40 行とする
- ⑤ 文字数 6,000 字～7,000 字（図・表は含まない）最後に後ろ揃えで（○○○○字）と文字数を表記する
- ⑥ 一行目にタイトルを中央揃えで記入、2 行空けて本文に入る
- ⑦ 下段にページ数を入れる
- ⑧ 誤字、脱字がない
- ⑨ 論文中には地名や施設名が特定されるような用語は使用しない
- ⑩ 参考文献・引用文献の記載方法は「重症心身障害児の療育」の投稿規定に従い、文献は重要なもののみとし、引用順に文中に番号を付ける。文献は論文の最後に引用順に一括記載する
- ⑪ タイトルの字数、引用・参考文献の字数は本文文字数に含まない
- ⑫ 注意事項に不備がある場合は減点の対象となる。
- ⑬ 論文中には謝辞は記載しない。